



2018年(平成30年)

定時社員総会・理事会

第8期

2017年4月1日～2018年3月31日

日 時:2018年6月2日(土)

会 場:大阪キャッスルホテル

一般社団法人日本ドラゴンボート協会

2018年(平成30年) 一般社団法人日本ドラゴンボート協会
定時社員総会・理事会

○日 時 2018年6月2日(土) 午前10時から理事会、午後2時から総会

○場 所 大阪キャッスルホテル(大阪府大阪市中央区天満橋京町 1-1)

【理事会】10:00-12:45 ※理事会の議案は過半数で成立

【定時社員総会】14:00-16:30 【理事会】16:30-17:00

※総会は出席対象者の過半数の参加があれば成立。議案は出席者の過半数で成立。

■対象者94人(理事13人、終身会員12人、A、B団体57人、都道府県協会12人)

□出席・委任者:計69人(出席34人=理事11人、終身11人、団体・個人・都道府県協会12人)、
委任=団体・都道府県協会35人)

(進行スケジュール)

☆JDBA 定款第12条「社員総会の議長は、理事長がこれに当たる」

第1号議案

2017年度事業報告(議長、国際委員長)

2)2017年度決算報告(事務局)

第3号議案

3)2017年会計報告・会計監査、業務監査報告(壇税理士、西川公認会計士監査、中村監査)

第4号議案

4-1)

第5号議案

5-1)2018年度予算(事務局)

5-2)2018年度事業計画・日程(議長)

第6号議案

6)2017年各専門委員会報告と2018年度方針(各専門委員会委員長)

第7号議案

7)その他報告事項

7-1)ハイスピードカメラ寄付者

7-2)2019年第14回IDBF 世界ドラゴンボート選手権大会について(競技委員長)

7-3)2018年JDBA役員

7-4)JDBA理事長通達

7-5)その他

【第1号議案1-1】

2017 年度事業報告

(資料)

2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月末まで

国内

日時	大会名	名義
4/30(日)	第9回いさドラゴンカップ2017(鹿児島県・伊佐市)	後援
5/7(日)	第5回宇治川源平龍舟祭(京都・宇治)市内1位京都工場保健会・受けよう精密検査、2位チーム賑ぎやかし、3位激漕、市外1位:b p、2位京都工場保健会すいすい丸、3位:beautiful planet	協力
5/21(日)	東京ドラゴンボート2017(東京)第13回 ADBF アジアドラゴンボート選手権大会選考会、オープン1位 bp、混合1位 INO-G、シニア1位東京龍舟マスターズ、女子1位東京龍舟プラチナ、スモール1位 G dragons small	主管
6/18(日)	第7回堺泉北港ドラゴンボート大会(大阪)オープン1位 Beer9、2位 8pazza、3位しげる	主管
7/16(日)	天神祭奉納 2017 日本国際ドラゴンボート選手権大会(大阪・天満橋)オープン:1位磯風漕友会、混合:1位 I-NOG、シニア:1位東京龍舟マスターズ、女子:1位 SUPER DOLPHIN、スモール1位 TAITAM X DRAGONS small	主催
8/6(日)	第10回九頭龍ドラゴンボート大会(福井・中角町) 1位びわにゃん、2位おかしい☆やつら	主管
8/27(日)	第14回KIX国際交流ドラゴンボート大会(大阪・関空) オープン1位bp、混合1位 Fish Eagle Dragon Boat Team、スモール1位★KIAS 合同チーム	主催
10/22 (日)	第5回スモールドラゴンボート日本選手権(滋賀・大津ボートレース場)選手権:オープン 1位 bp、混合1位東京龍舟シバ、女子1位びわにゃん、普及オープン1位闘龍者、国際1位津奈木海龍	主管

海外

10/18-23	第13回IDBF世界ドラゴンボート選手権大会	IDBF
----------	------------------------	------

【第1号議案 1-2】 2017年度JDBA 登録チーム(登録順)

櫻井議長

A団体登録チーム: 7チーム(昨年7チーム、2年前6チーム、3年前8チーム)

① 関西龍舟シンバ(兵庫)	② 東京龍舟(東京)	③ 磯風漕友会(兵庫)
④ bp(大阪)	⑤ 東京龍舟ワイルド(東京) :small	⑥ SUPER DOLPHIN(兵庫)
⑦ 海猿火組(静岡) :small		

B団体登録チーム: 54チーム(昨年 40チーム、2 昨年 53チーム、3 年前 40チーム、4 年前 43チーム、5 年前 50チーム)

① 打艇龍舟倶楽部(大阪)	② 関空飛龍(大阪)	③ 一寸防止(大阪)
④ チーム未来(大阪)	⑤ チームいっとこ(大阪)	⑥ team 風(大阪)
⑦ IHI 瑞龍丸(埼玉)	⑧ 香里ヶ高校 5 期生(大阪)	⑨ bp next(大阪)
⑩ 近畿車両電龍(大阪)	⑪ R スポーツマンクラブ(大阪)	⑫ 吹田龍舟倶楽部(大阪)
⑬ コンチネンタルオートモーティブ(神奈川)	⑭ チーム☆ニライカナイ(東京)	⑮ 株式会社スタック(神奈川)
⑯ TOKYO DRAGON(東京)	⑰ エバーリゾート(東京)	⑱ 横浜火龍団(神奈川)
⑲ EAGLE MKT(東京)	⑳ 暴漕連合(東京)	21 東京龍舟マスターズ(東京)
22 タイタムエックスドラゴンズ(東京)	23 ボン・オヤージ(東京)	24 しずはま(静岡)
25 池の里 LAKERS(滋賀)	26 青山大学ドラゴンボートチーム THUBAN (東京)	27 すきやねん大阪(大阪)
28 坊勢酔龍会(兵庫)	29 G-dragon(東京)	30 IHI 相生(兵庫)
31 INO-G(埼玉)	32 琵琶湖ドラゴンボートクラブ(滋賀)	33 すいすい丸(京都)
34 大阪産業大学常翔喜龍(大阪)	35 Team BANANA(兵庫)	36 関西龍舟ハーパリアンズ(兵庫)
37 東海龍舟(愛知)	38 Chiyorow 倶楽部(神奈川)	39 鹿島龍舟部(東京)
40 CIC RISING STAR(埼玉)	41 TOKYO DRAGON(東京)	42 チーム青緑(東京)
43 Pirates of Rakutenian(東京)	44 ヤンググリーン(兵庫)	45 OCT ドラゴンボート倶楽部大阪
46 TEAM河童(大阪)	47 東京龍舟プラチナ(東京)	48 伊佐龍舟(鹿児島) :small
49 しげる(鳥取) :small	50 Rowing Team 浪わ(奈良) :small	51 小寺製作所(滋賀) :small
52 セピア(兵庫) :small	53 Spirits Club(滋賀) :small	54 津奈木海龍(熊本) :small

都道府県協会登録 12 団体

① 福島県ドラゴンボート協会	② 東京都ドラゴンボート協会	③ 千葉県ドラゴンボート協会
④ 静岡ドラゴンボート協会	⑤ 愛知県ドラゴンボート協会	⑥ 福井県・九頭龍ドラゴンボート協会
⑦ 滋賀県ドラゴンボート協会	⑧ 京都府ドラゴンボート協会	⑨ 和歌山県ドラゴンボート協会
⑩ 大阪府ドラゴンボート協会	⑪ 兵庫県ドラゴンボート協会	⑫ 沖縄県ドラゴンボート協会

都道府県別A・B団体登録チーム加盟数

県名	2017年度 61チーム	2016年度 47チーム	2015年度 60チーム	2014年度 48チーム	2013年度 52チーム	2012年度 58チーム
福島県	0	0	0	1	0	0
埼玉県	3	1	2	1	0	1
千葉県	0	1	3	1	1	1
東京都	17	12	16	10	14	14
神奈川県	4	2	5	4	1	3
静岡県	2	2	1	0	1	1
愛知県	1	1	1	1	1	2
京都府	1	1	1	1	1	1
滋賀県	4	2	2	2	3	2
大阪府	16	16	20	20	22	23
兵庫県	9	9	9	7	6	8
和歌山県	0	0	0	0	1	2
奈良県	1					
鳥取県	1					
熊本県	1	0	0	0	1	0

【第2号議案】

事務局

2017年度 一般社団法人日本ドラゴンボート協会決算報告(総会承認事項)

(2017年4月1日～2018年3月末まで)

¥20,967,575(総収入)－¥21,420,634(総支出)＋¥1,130,216(繰越金)

＝¥677,157(通帳残金)

1. 収入の部

収入項目	2017年度予算	2017年度決算	増減	内訳
1. 会費(登録料)	1,000,000-	927,127-		個人、団体登録料
2. 検定料	400,000-	405,000-		パドル検定
3. 主管料	1,000,000-	880,000-		日本選手権、堺泉北、スモール選手権、東京大会
4. JDBA HP 広告料	1,200,000-	1,500,000-		サンスポ広告
5. 寄付金	0	110,000-		チーム・役員
6. 日本選手権トビックくじ助成	1,000,000-	0		くじ助成金は支出、収入とも相殺で計上せず
7. 日本選手権運営費 toto 助成金	4,000,000-	4,041,000-		日本スポーツ振興センターより toto 大会助成金 P16 に明細記載
8. 日本選手権大会参加料・協賛金	8,200,000-	8,086,400-		P16 に明細記載
9. 借入金	3,000,000-	2,950,000-		JDBA 本体口座、事務局
10. 貸出金返金	2,000,000-	2,058,027-		
11. 雑収入	10,000-	10,021-		
12. その他	0	0		
小計	21,810,000-	20,967,575-		
前年繰越金	1,130,216-	1,130,216-		
合計	22,940,216-	22,097,791-		

2. 支出の部

支出項目	2017 年度予算	2017 年度決算	増 減	内 訳
1. 会費	250,000-	92,000-		IDBF、水上安全協会 会費ほか
2. 宿泊・交通費 国内旅費 海外旅費	700,000-	154,350-		役員国内移動費 アジア大会打合せ天 神大会宿泊費
3. 事務所費	1,000,000-	954,520-		HP管理費、税務会計 処理費、税金等
4 通信費・郵券 通信費 郵券	40,000-	12,636-		振込手数料
5. 会場借上げ	60,000-	61,000-		キャッスルH会議室
6. 消耗品・補修費	0	0		ドラゴン修理費
7. 会議費・打合せ費	50,000-	0		JDBA 打合 天神大会来賓食事
8. 地方協会分配金	450,000-	515,250-		東京、大阪、滋賀協会
9. ハイスピードカメラ返済	400,000-	367,200-		2017 年7月で終了
10ドラゴン 5 隻保管 料	810,000-	810,000-		大阪・南港にカバー付き で保管
11選手強化費		76,272-		世界選手権
12立替金返金①	1,000,000-	850,000-		JDBA 口座立替金返済 (谷事務局長より)
13ドーピング検査費	1,100,000-	1,200,000-		ドーピング口座立替金返 済(JDBA 口座より)
14立替金返金②	2,000,000-	2,100,000		日本選手権口座立替 金返済(JDBA 口座よ り)
15日本選手権大会 経費(内訳は以下)	12,500,000	14,227,406		※P16に記載
16予備費	2,040,216	0		
合計	22,940,216	21,420,634-		

【第3号議案】 2017年度 会計監査、業務監査報告

(西川公認会計士会計監査、中村業務監査)


2017年の事業執行状況及び決算関係書類について監査したところ、いずれも

正当妥当なことを認めます。

2018年5月18日

一般社団法人 日本ドラゴンポート協会

会計監査

西川京子 

業務監査

中村英行 

【第3号議案】

(収入・支出報告書)と正味財産増減計算書との調整表

(単位：円)

正味財産増減計算書との調整表

(単位：円)

収入の部	20,967,575
未収入金	1,072,000
通帳間移動	△2,058,027
通帳間移動	△2,100,000
借入分	△850,000
正味財産増減計算書	
經常収益計	17,031,548

支出の部	21,420,634
減価償却	507,433
源泉所得税	44,005
ハイスピードカメラ割賦手数料	32,836
ハイスピードカメラローン支払	△367,200
源泉所得税納付	△53,194
通帳間移動	△2,058,027
通帳間移動	△2,100,000
借入分	△850,000
正味財産増減計算書	
經常費用計	16,576,487

貸借対照表

平成 30年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	677,157	1,130,216	△453,059
未収金	1,072,000	0	1,072,000
前払費用	18	32,854	△32,836
流動資産合計	1,749,175	1,163,070	586,105
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	379,590	759,179	△379,589
船舶	8	127,852	△127,844
その他固定資産合計	379,598	887,031	△507,433
固定資産合計	379,598	887,031	△507,433
資産合計	2,128,773	2,050,101	78,672
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	367,200	△367,200
預り金	9,189	18,378	△9,189
仮受金	100	100	0
流動負債合計	9,289	385,678	△376,389
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	9,289	385,678	△376,389
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	2,119,484	1,664,423	455,061
正味財産合計	2,119,484	1,664,423	455,061
負債及び正味財産合計	2,128,773	2,050,101	78,672

正味財産増減計算書

平成 29年 4月 1日 から平成 30年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	2,176,127	2,403,000	△226,873
受取補助金等			
受取民間助成金	13,199,400	13,126,600	72,800
受取寄付金			
受取寄付金	146,000	490,000	△344,000
雑収益			
受取利息	21	19	2
雑収益	1,510,000	1,253,500	256,500
雑収益計	1,510,021	1,253,519	256,502
経常収益計	17,031,548	17,273,119	△241,571
(2) 経常費用			
事業費			
旅費交通費	550,390	700,604	△150,214
通信運搬費	120,960	120,960	0
減価償却費	507,433	812,196	△304,763
消耗什器備品費	141,015	221,932	△80,917
消耗品費	158,449	169,468	△11,019
印刷製本費	150,120	150,120	0
光熱水料費	305,856	276,372	29,484
賃借料	296,768	220,920	75,848
保険料	112,440	0	112,440
支払負担金	1,552,836	1,510,727	42,109
支払寄付金	150,000	150,000	0
委託費	10,552,446	10,827,621	△275,175
雑費	1,043,115	1,125,744	△82,629
事業費計	15,641,828	16,286,664	△644,836
管理費			
会議費	0	12,297	△12,297
交際費	33,102	1,296	31,806
通信運搬費	0	8,320	△8,320
消耗什器備品費	22,352	32,698	△10,346
賃借料	61,000	58,400	2,600
租税公課	71,200	92,350	△21,150
支払負担金	22,000	64,862	△42,862
委託費	391,880	345,800	46,080
雑費	333,125	276,222	56,903
管理費計	934,659	892,245	42,414
経常費用計	16,576,487	17,178,909	△602,422
評価損益等調整前当期経常増減額	455,061	94,210	360,851
当期経常増減額	455,061	94,210	360,851
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	455,061	94,210	360,851
当期一般正味財産増減額	455,061	94,210	360,851

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
一般正味財産期首残高	1,664,423	1,570,213	94,210
一般正味財産期末残高	2,119,484	1,664,423	455,061
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,119,484	1,664,423	455,061

【第4号議案4-1】

2018年度予算

事務局

2018年度一般社団法人日本ドラゴンボート協会予算
(2018年4月1日から2019年3月末まで)

1. 収入の部

収入項目	2017年度決算	2018年度予算	増減	内訳
1. 会費 (登録料)	927,127-	1,000,000-		A個人A・B団体会費、都道府県会費
2. 検定料	405,000-	400,000-		パドル検定
3. 主管料	880,000-	900,000-		堺泉北、びわ湖、東京、
4. JHDBA HP 広告料	1,500,000-	1,500,000-		協会HP パナーのサンスポ広告 掲載料
5. チーム役員 寄付	110,000-	0		
6. 日本選手権 ドーピング助成	0	1,000,000-		くじ助成金 日本選手大会
7. 日本選手権 運営費助成金	4,041,000-	4,060,000-		toto 大会助成金 日本スポーツ振興セ ンターから
8. 日本選手権 参加料・協賛金	8,086,400-	8,000,000-		参加料 協賛金:大王製紙
9. 借入金	2,950,000-	3,000,000-		事務局長と JDBA 本体から
10 貸出金返金	2,058,027-	2,000,000-		JDBA 本体に返金、 差額は負担金。
11,雑収入	10,021-	0		
12,その他	0	0		
小計	20,967,575-	21,860,000-		
前期繰越金	1,130,216-	677,157-		通帳残金
合計	22,097,791-	22,537,157-		

2. 支出の部

支出項目	2017年度決算	2018年度予算	増減	内訳
1. 会費, IDBF登録費 1122人×@100-	92,000-	200,000-		IDBF、JADA 会費等
2. 旅費	154,350-	150,000-		役員交通費
国内旅費				国内役員
3. 事務所費	954,520-	1,000,000-		HP管理、会計 処理費など
4. 通信費 郵券	12,636-	10,000-		振込手数料
5. 会場借上	61,000-	60,000-		総会会場等
6. 消耗品費 ボート修理費	0	0		JDBA ボート 修理費
7. 会議費	0	30,000-		天神大会来 賓食事代など
8. 地方協会分配金	515,250-	500,000-		
9. ハイスピードカメラ 返済金	367,200-	0		27年7月まで
10. 新艇保管料	810,000-	810,000-		5艇大阪南 港保管
11. 選手強化費	76,272-	80,000-		アジア選手権
12. 立替金返金①	850,000-	850,000-		事務局長立 替金
13. ドーピング検査費	1,200,000-	1,200,000-		JADA
14. 立替金返金②	2,100,000-	2,100,000-		JDBA 通帳か ら toto 専用 通帳に貸出
15. 日本選手権大 会経費	14,227,406-	14,500,000-		天神大会運 営費 P15 に 明細記載。
		(21,490,000)		
16 予備費		1,047,157		
合計	21,420,634-	22,537,157-		

天神祭奉納 2017年日本ドラゴンボート選手権大会収支明細

※本大会は、独立行政法人日本スポーツ振興センターから toto の大会助成を得て運営しています。

収入

1	参加料収入	20人漕ぎ、10人漕ぎ	5,840,000
2	toto 大会運営助成金	独立行政法人日本スポーツ振興センター	4,078,027
3	協賛金	大阪製紙、大会プログラム広告費	2,246,400
4	雑収入	普通預金利息	6
	収入合計		12,164,433-

支出

1	施設費	陸上、水上施設、音響設備費	5,883,300
2	製作費	大会プログラム製作費	150,120
3	資材費	物品購入、昼食、表彰金品購入	1,044,936
4	使用料	会場使用料	70,400
5	運送費	資材運搬費	120,960
6	人件費	実況、司会料 2人	70,000
7	警備費	会場警備費	288,900
8	ゴミ処理費	南天満公園ゴミ処理	127,440
9	主管料	大阪府ドラゴンボート協会	150,000
10	広告宣伝費、大会運営費	サンケイスポーツ	2,600,000
11	宿泊交通費	役員宿泊、交通費	396,040
12	会費	大阪水上安全協会賛助金	100,000
13	打合せ費	協賛社食事代	35,793
14	事務所費	保険、初穂料	272,808
15	立替金	産経新聞大会経費立替金(謝礼他)	847,666
16	振込手数料	三井住友銀行	11,016
	支出合計		12,169,379

【第5号議案】

2018年度事業計画

櫻井議長

2018年 JDBA 関連大会日程(予定)

6/2 現在

(平成30年度)

【国内大会】

- 5月20日(日) 東京ドラゴンボート大会2018(東京・お台場)主管
※第14回IDBF世界選手権選考予選会
オープン1位:bp59"00 混合1位:東京龍舟1'2"84 女子:東京龍舟プラチナ
シニア1位東京龍舟マスターズ
- 6月17日(日) 第8回堺泉北港スモールドラゴンボート大会(大阪・高石市)主管
- 7月15日(日) 30周年記念 天神祭奉納 2018日本国際ドラゴンボート選手権大会
(大阪市)主催 ※第14回IDBF世界選手権最終選考会
- 7月15日(日) 第11回豊見城ハーリー大会(沖縄・豊見城市)協力
- 8月5日(日) 第11回九頭龍ドラゴンボート大会(福井・福井市)協力
- 8月5日(日) 伊佐市政10周年記念いさドラゴンカップ(鹿児島・伊佐市)後援
- 8月18日(土) 第13回びわ湖ドラゴンキッズ選手権大会(滋賀県)後援
- 8月19日(日) 第28回びわこペーロン(滋賀県)
- 9月2日(日) 第15回KIX国際交流ドラゴンボート大会(泉佐野市)主催
- 9月9日(日) 第6回宇治川・源平・龍舟祭(京都・宇治市)ODBA 主管
- 9月24日(月・祝) 第13回びわ湖ドラゴンボート1000m選手権大会(滋賀県)後援
第8回ドラゴンボート・グランドシニア大会(滋賀県)後援
- 9月30日(日) 第9回名古屋中川運河ドラゴンボートレース(愛知・名古屋市)共催
- 9月30日(日) 第8回静岡ドラゴンボート大会ツナカップ(静岡)
- 10月21日(日) 第6回スモールドラゴンボート日本選手権大会(滋賀)主管
- 9月23日(日) 第11回東大島ドラゴンボート大会(東京・東大島)

【国際大会】

- (2018年) 第18回アジア競技大会(インドネシア)8月
第13回ADBFAジアドラゴンボート選手権(中国・仏山市)11月
第11回世界クラブクルー選手権(ハンガリー・セゲド)7月
- (2019年) 第14回IDBF世界ドラゴンボート選手権大会(タイ・パタヤビーチ)
- (2020年) 第14回ADBFAジアドラゴンボート選手権(香港・予定)
第12回Club Crew World Championships, 2020(場所:未定)
- (2021年)5月14日-23日
第10回KANSAI WORLD MASTERS GAMES 2021dragon(滋賀)
第15回World Dragon Boat Championships, 2021(場所:未定)
- (2021年) 第2回アジアクラブカップ選手権

【第6号議案】

各専門員会報告

【6-1競技委員会】 2017年の報告と2018年の計画

長谷川委員長

2017年の報告

5月7日	第5回宇治川・源平・龍舟祭	後援
5月21日	東京ドラゴンボート大会 2017	主管
6月18日	第7回堺泉北港スモールドラゴン大会	主管
7月16日	天神祭奉納 2017 日本国際ドラゴンボート選手権大会	主催
7月16日	第10回豊見城ハーリー大会	協力
8月6日	第10回 九頭龍ドラゴンボート大会	後援
8月27日	第14回 KIX 国際交流ドラゴンボート大会	主催
10月30日	第5回スモールドラゴンボート日本選手権大会	主管

開催いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

2018年の計画

①大会開催予定

5月20日	東京ドラゴンボート大会 2018	主管
6月17日	第8回堺泉北港スモールドラゴンボート大会	主管
7月15日	30周年記念 天神祭奉納 2018 日本国際ドラゴンボート選手権大会	主催
7月15日	第11回豊見城ハーリー大会	協力
8月5日	第11回九頭龍ドラゴンボート大会	協力
8月5日	伊佐市政 10周年記念いさドラゴンカップ	後援
8月18日	第13回びわ湖ドラゴンキッズ選手権大会	後援
9月2日	第15回KIX国際交流ドラゴンボート大会	主催
9月9日	第6回宇治川・源平・龍舟祭	主管
9月24日	第13回びわ湖ドラゴンボート 1000m選手権大会	後援
9月24日	第8回ドラゴンボート・グランドシニア大会	後援
9月30日	第9回名古屋中川運河ドラゴンボートレース	共催
9月30日	第8回静岡ドラゴンボート大会ツナカップ	
10月21日	第6回スモールドラゴンボート日本選手権大会	主管

②競技者規定の見直し

③日本代表チームの選考方法の検討→強化委員会と共同にて

④舵取りの技術向上→各地方協会にお願い

以上

【海外からの問い合わせや対応】

昨年度の問い合わせ件数は約 60 件(2016 年度約 50 件)、それらに対応するため大会要項や宿泊先等のやり取りはのべ約 250 通(2016 年度約 300 通)でした。加えて、国内大会開催では、海外から参加されるチームや日本選手権開催にあたり招聘した IDBF 審判に対して、大会期間中のサポートだけでなく、渡航や宿泊、観光のアドバイスなど、国際委員会が行っています。

【大会関係】

- ① 中国・昆明で 2017 年 10 月 18 日から 23 日に開催された第 13 回 IDBF 世界選手権にプレミア混合及びシニア A オープンに 43 名が参加しました。内陸の高地での雨の日は気温が著しく低下したものの選手は大会期間中体調維持につとめられ特段の問題はありませんでした。大会の詳細については、HP に掲載しておりますが、今後多くのカテゴリーに参加し、特にシニアでは結果を狙っていく体制の検討も課題だと考えられます。なお、本大会では、大会運営として IDBF Chief official として菖蒲氏が、Chief Secretary として森永が参加しました。
- ② 台湾の北東部、花蓮・鯉魚潭(Liyu Lake)で 2018 Hualien Pacific International Dragon Boat Race が 3 月 17 から 18 日に開催され、20 か国、46 チームが参加しました。日本ドラゴンボート協会呼びかけで JDBA 役員、登録チームから今年 2 月 6 日に発生した花蓮地震の被災者への義援金が集まり、花蓮県長に手渡しました。また東京龍舟チームも独自に T シャツを販売して義援金を工面し、手渡しました。翌 19 日の地方紙にはその報告が贈呈式の写真とともに掲載されました。なお、本大会では、大会委員長として、菖蒲氏が参加しました
- ③ 中国・広東省・仏山市で 11 月 16 日から 18 日に第 13 回アジアドラゴンボート選手権の選手派遣に関する準備を始めています。

国際委員会の現状と今後の展望

現在、JDBA での IDBF 審判資格保有者は約 30 名です。昨年 10 月に中国・昆明で開催された第 13 回世界選手権大会時に、森永 IDBF 国際審判 Grade 3、菖蒲 Grade4 に昇格しました。ワールドマスターゲームズ 2021 関西や今後も益々普及する状況下において、国審判員の必要性が増しています。当委員会として、今後も普及啓発に努めたいと考えております。

【今後の国際大会予定】

2018 年 第 11 回 IDBF クラブ選手権: ハンガリー・セグド

2018 年 11 月 第 13 回 ADBF アジア選手権: 中国・仏山市

2019 年 第 14 回 IDBF 世界選手権 タイ・パタヤ

2020 年 第 12 回 IDBF クラブ選手権: 香港

★「IDBF 総会報告」にもありますように、昨年 10 月に昆明で開催された IDBF 総会で年会費(USD250)とは別に、各国の登録選手一人当たり US1ドルを徴収して納めるように、という決定がなされています。
60 チーム 1,212 人(51 チーム×22 人=1122 人、9 チーム×10 人=90 人)×100 円=112,200 円

2017年10月31日

IDBF 総会報告書

JDBA 副理事長、菖蒲 誠

2017年10月23日、中国・昆明にて32か国の代表が参加してIDBF総会が開催されました。以下、その報告です。

1. 第13回世界ドラゴンボート選手権大会が中国・昆明市にて、21か国から約2500人の選手が参加して10月18日から22日まで開催されました。中国・Wujin で開催された第2回 World Cup で CCTV(中国中央テレビ)により大会のライブ中継がなされましたが、世界ドラゴンボート選手権大会でライブ中継されたのは今回が初めてです。
2. IDBF はイギリス、マン島にて法人組織として登録され、予想されるリスクを回避するための保険にも加入しています。
3. 常任理事会では理事間の情報共有を改善するためと今後の計画を討議するために、年4回の会議を持つことにしました。
4. 2016年8月にIDBFはIOCに対して承認のための申請を再度行いましたが、IDBF規定・規約に不足があるということで承認されませんでした。しかし、申請事項はファイルされましたので、修正すべき規定の文言、ならびに不足部分について検討し、再提出することにしました。IDBF に新しい委員会を追加します（この点がIOCから指摘された点でした）。
5. IOC の勧告に従って、以下の新たな委員会を追加することにしました。
 - 1) Athletes Commission (AC), 2) Sport for all Commission (SC), 3) Youth Commission (YC), 4) Adaptive Paddlers Commission (APC), 5) Women Athletes Commission (WAC).
 - 2) IDBF の細則 (Bye-Laws) に、倫理規定(Code of Ethics) を追加し、倫理委員会 (ETHICS COMMITTEE) を追加する。
 - 3) 倫理規定を順守する目的で、Entourage Committee (選手並びに役員のプロトコルを担う委員会)を設け、その職務内容を明記する
6. IDBF 常任理事は ICF 会長、副会長と数回のミーティングを持ちました。その中で、さらなる相互の交流と協力が必要なこと、そして2020年までの早い段階で、ジョイントチャンピオンシップ大会を開催することが決定しました。
7. 中国ドラゴンボート協会 (Chinese Dragon Boat Association) から、2022年に中国・北京で開催される第24回 Winter Olympic Games 時に、Ice Dragon Boat Sport のデモンストレーションを行いたいという提案があった。そのために、2018年1月に中国・吉林市で「第一回世界アイス・ドラゴンボート選手権大会」を中国開催する。
8. 今後の大会予定

- 1) 11th Club Crew World Championships, 2018
2018年7月17日～22日 Szeged, Hungary (ハンガリー、セゲド)
- 2) 14th World Dragon Boat Championships, 2019 2019年7月～8月
Pataya beach, Thailand (タイ、パタヤビーチ)
- 3) 12th Club Crew World Championships, 2020 2020年8月以降
Divonne les Bains, France
- 4) 15th World Dragon Boat Championships, 2021
2021年 Hong Kong (香港)、仮決定
- 5) 1st Ice Dragon Boat Championships, 2018 中国・吉林省、吉林市

9. 役員人事

President: Mike Thomas

Vice Presidents: Senior VP, Dr. Raymond Ma (Hong Kong)

Mr. Fan Guangsheng (China)

Mr. Matthew Smith (Canada)

Ms. Julie Doyle (UK)

Mr. Peter Jarosi (Hungary)

Secretary General: Mr. Peter Tang (Macau SAR, China))

Treasurer : Mr. Alan Van Caubergh (Netherland)

10. その他

1) 年会費変更

現在年間 USD250 だが、これに加えて各国・地域のドラゴンボート協会に加盟している選手一人当たり USD1.00 (1ドル)を追加して支払う。

2) スタンダードボート (20人漕ぎ) の混合カテゴリー

男女の構成を同数 (10人 x 10人) とする。競技規定の改定版を発行する。

3) パドル検定担当を、Jason Cheng (シンガポール) に任命し、トレーニングを行った。

4) Cultural & Heritage Commission

私はこの委員会のメンバーですが、今回の総会で次のように活動状況を説明しました。

「IDBF 加盟メンバー国・地域のドラゴンボート協会宛てにアンケート用紙を送信し、それぞれの協会の成り立ち、ドラゴンボートスポーツ文化、現状などの情報を収集する。その結果をまとめてドラゴンボートスポーツの将来的発展と普及に役立つようにする」。アンケートの内容のドラフトを添付します。

【6-3審判委員会】

審判委員会 2017年度活動実績と2018年度活動計画

審判委員会 川北尚勝

1. 2017年度活動計画 vs. 実績

★ 活動計画 1. 審判員資格取得の推進と取得後のフォロー

【実績】（下記の人数は年間合計）

- ① B級への昇級認定・C級から：24名（東京都協会、滋賀県協会）
- ② A級への昇級認定・B級から：11名・C級から：2名（東京都協会）
- ③ 上級への昇級認定・B級から：16名・A級から：30名
- ④ JDBA HP 審判資格者リストのアップデート
 - ・上記の昇級認定および、下記(参考1)の新たなC級認定の都度、リストを改定(参考1) C級新規取得者（都道府県協会認定）
 - ・16名（滋賀県協会）(和歌山県協会修正)
 - (参考2) 審判資格者の級別合計人数(2017年度末現在)
 - ・上級 70名、A級 15名、B級 42名、C級 138名、計 265名

★ 活動計画 2. 公認審判員規定と審判員資格体系の見直し・改定・整備

【実績】 JDBA 審判員資格認定細則及び付属フォームの制定・公布

・2016年度から継続審議となっていたが、2017年度に入ってようやく理事会の承認を経て制定・公布

★ 活動計画 3. 審判員認定講習会テキストおよび試験問題の改定

【実績】 見直しを行ったが、特に新たな変更や懸案事項がなく、改定・整備は行わなかった

2. 2018年度活動計画

- (1) 審判員資格取得の推進と取得後のフォロー
- (2) 昇級認定の推進
- (3) 審判員認定講習会テキストおよび試験問題の改定(必要に応じて)
- (4) その他

以上

【6-4科学技術委員会】

科学研究委員会報告(2018.6.2)「2017年度」

①2015年度の日本選手権のレース経過の実態を報告した。

詳細は協会ホームページにアップ

②2017年度のレース経過の実態記録の一部を記録した。

③記録・ピッチ数/分の関係からの漕技術評価基準ならびの目標値一覧(オープン)の作成。

漕技術レベル ピッチ数/分 記録(250m) 平均速度 最高速度 腕立・懸垂

グレイドⅠ 80以下 80秒以上 3.1以下 3.8以下 下記参照

グレイドⅡ 90以下 70~80 3.1~3.6 3.8~4.3

グレイドⅢ 100以下 60~70 3.6~4.2 4.3~5.2

グレイドⅣ 100以上 50~60 4.2~5.0 5.2~6.1

グレイドⅤ 100以上 50秒以下 5.0以上 6.1以上

(ピッチ漕タイプのチームは、110以上) (m/s) (m/s)

*グレイドⅤ:世界選手権入賞レベル

*ドラゴンボートレースの3大課題

①加速課題:50m地点で最高速度に達する

②最高速度課題:最高速度を高める(平均速度の1.22倍以上)

③速度維持課題:最高速度をゴールまで維持できる

*体力課題

①腕立:ピッチ数の8割の回数(同数以上がベスト)

②懸垂:ピッチ数の半分の回数(8割以上がベスト)

「本年度の計画」

①世界選手権、アジア選手権の実績の整理

②日本選手権のレース経過の実態記録

特にスモール艇とスタンダード艇の比較を中心に

③代表チームへの科学的サポート

④ストローク技術の解明

世界のトップレベルの漕法の分析

⑤その他(要望を受けて)

等について計画している。

委員長:後藤幸弘

副委員:田中 譲(大阪産業大学)

委員:灘本雅一(プール学院大学)

秋武 寛(びわこ成蹊スポーツ大学)

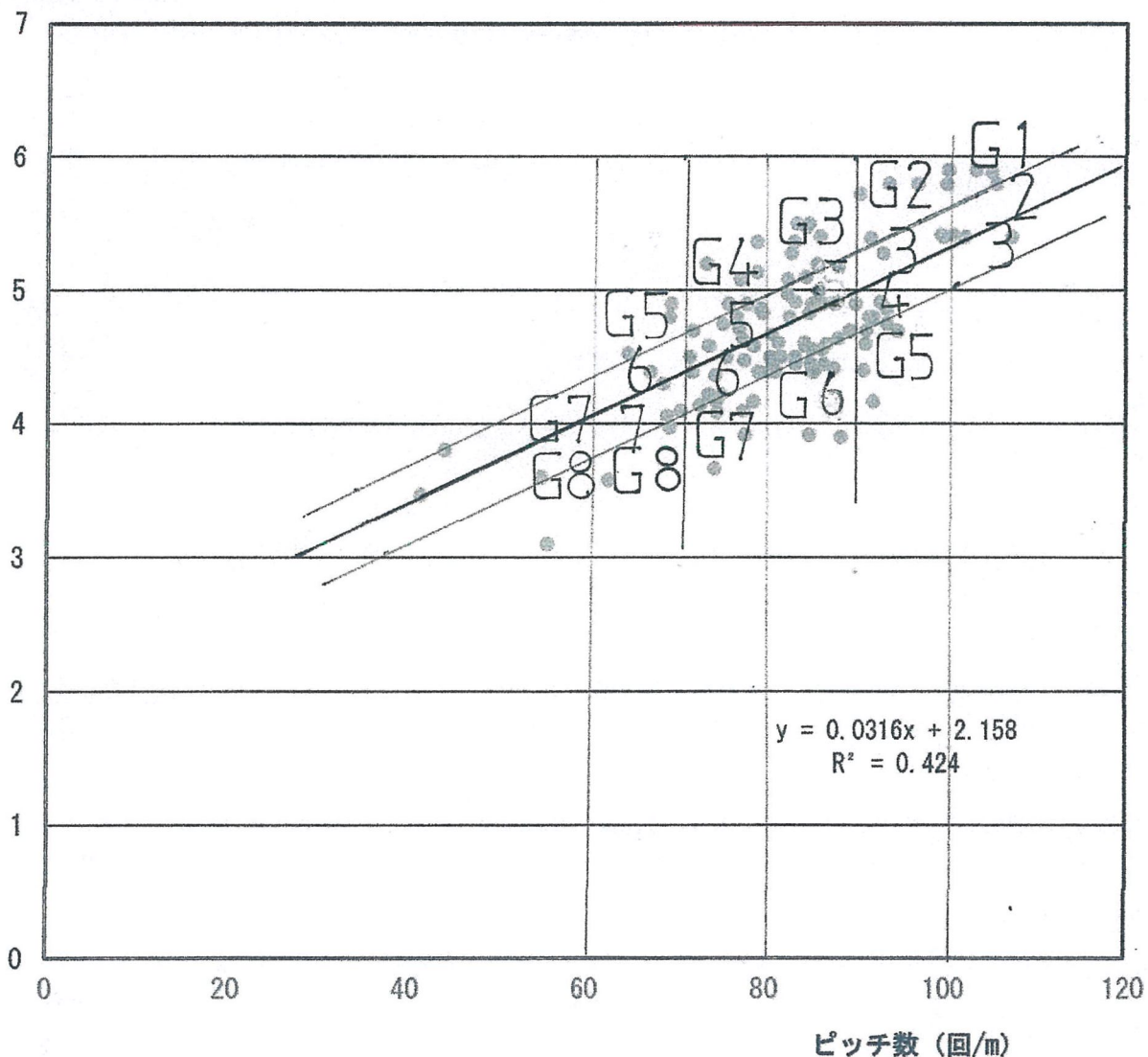
越智祐光(姫路獨協大学)

『ピッチ回数と最高速度の関係からみたチームの技術レベル評価表』

速度と一分当たりのピッチ回数（ストローク数）の間には、下図のような相関関係と回帰直線（ $y = 0.0316x + 2.15$ 、 $r = 0.65$ ）の得られることがこれまでの測定で明らかになっている。すなわち、基本的には高いピッチ数で漕げるチームが強いという傾向がある。換言すれば、10回ピッチ数を高めることが出来れば、速度は0.3m/秒向上し、タイムに換算すれば250mの距離で（平均速度4m/秒から4.3m/秒）約62秒から58秒に短縮できる計算になる。しかし、同じピッチ数であっても、速度は最大2m/秒異なる例がみられる。ここに漕技術の優劣がある。すなわち、ピッチ数が同じで回帰直線の上方のチームは、下方のチームよりもワンストロークで進む距離が長く上手く漕げていると評価される。したがって、回帰直線の下方に位置づくチームは、水を捉えたストロークができることが課題となり、上方のチームは、ピッチ数を高めることが課題と言える。

科学技術研究員会では、この資料を基に技術段階評価基準をG1からG8の8段階に設定した。すなわち、同じグレードで左側に位置するチームは、ピッチ数を高める方向で、同じグレードで右側に位置するチームは、水を捉えたストロークができる方向で練習することを勧める。目指せグレード1！

最高速度 (m/s)



【6-5 法制営業委員会】

2017年度活動報告並びに2018年度活動方針

法制営業委員会委員長 利波敏行

【2017年度活動報告】

■コーポレートゲームズ アジアパシフィック東京 2017 競技採用アプローチ

2015年に競技種目として採用・実施大会事務局からの要望により、実施会場を変更してアプローチ。

東雲運河／豊洲6丁目公園及び船着き場・栈橋を利用で提案。

会場設備は整っていたが、豊洲市場移転問題の影響で、供用開始が延期となる。

→会場管理が東京都港湾局から、移管予定先の江東区・指定管理会社に対する供用開始時期に目途が立たず、開催を断念。次年度以降の状況を引き続き調査。

※会場の条件次第では、お台場で開催している東京大会の会場候補地としても視野に。

■コーポレートゲームズ関西 2018 競技採用アプローチ

2018年10月27日・28日大阪市内を中心に開催。準備事務局（JTB西日本等）より、

実施における会場候補及び実施予算の打診あり。高石の漕艇センターで、スモール艇での

実施プランを提案。→関西で初開催のため10競技で開催予定。参加者（企業・チーム）の状況が不透明なため、参加費で収支を賄うことが前提の大会である以上、参加者次第となる部分にリスクあり。

ドラゴンボートは、他の競技と比較して、支出面でインフラ部分（ボートの輸送含む）に掛かるコストが割高のため収支構造上、リスクが高い競技として判断され、不採用。

→【申し送り事項】既存の協会登録チームがあり、ベースの参加チーム確保への活動は行える。所見：初年度の大会運営、参加状況を見据え、次年度採用に向けて引き続き活動

【2018年度活動方針】

■東京・大阪地区での新たな大会実現に向けて、営業活動

・コーポレートゲームズ次年度採用に向けた、調査活動

・WMG2021 関西の滋賀県会場で実施のドラゴンボート。組織委員会に対し、本番に向けた開催地機運醸成イベントを提案

※8月に組織委員会主催による、1000日前イベントが計画されている。全体の中身次第によるが、エキシビジョンや体験会など模索。

■企業の福利厚生におけるスポーツイベント採用に向けたアプローチ

社内コミュニケーションの不足、チームビルディング構築のため等チームスポーツを採用して社員間の交流を活発にすることを課題に挙げている企業が多い。この点に着目して、ドラゴンボートに対する興味関心度を高める活動を行う。

■関西の訪日観光客増加に向けたインバウンド施策の一環として、日本人と外国人の交流イベントの一つとして、ドラゴンボート体験試乗会など水辺の賑わい創造事業ツールとして提案・・・大阪市、大阪観光局等巻き込む。

以上

【6-6 強化委員会】

強化委員会 2017 年度活動実績及び 2018 年方針

JDBA 強化委員会

半田、河田、高橋、楡木

1：日本代表選抜選手による交流会の実施

日本代表選抜選手は、2017 年度 4 月に実施されたカヌー連盟代表とのアジア大会選考レース後、実質日本代表としての活動の場がなかった。そこで昨年度の振り返りを行うと共に、今後の日本代表の活動方針について率直な意見交換の場として、代表選抜選手による交流会を実施した。

日時：2018 年 3 月 10－11 日

場所：兵庫県 相生マリーナ

参加者：男子選手 23 名、女子選手 12 名、サポートメンバー 4 名、強化委員会 4 名

実施内容：天ヶ台トレイルラン、乗艇練習、お椀島 2.3 km ペーロン漕ぎ

17 年総括と 18 年活動方針説明及び意見交換、懇親会

2：2018 年以降の日本代表活動方針の策定

2022 年アジア大会への出場とメダル獲得を中期的なゴールと設定し、そのためのステップとしての 2018 年からの活動方針を策定した。以下はその骨子。

- ① 2017 年度の日本代表選抜選手を強化指定選手として認定
- ② 選考レースにて日本代表権を獲得したチームを主体となり、そこに強化指定選手が加わる形で代表チーム編成する
- ③ 代表権を獲得したチームのヘッドコーチと強化委員会で最終のメンバー選考を行う
- ④ 代表強化合宿は代表権を獲得したチームの本拠地をベースに行う
- ⑤ チームに加わった強化指定選手は、代表権を獲得したチームの方針に沿った戦略や漕ぎを修得し、大会に向けての準備を行う
- ⑥ 2018 年度のアジア選手権（中国）から試験的に導入し、代表チームとしての出場する
- ⑦ 2019 年世界選手権より本格参戦し、国際大会経験を積む
- ⑧ 可能であればカヌー連盟代表との定期的なレースを設定し、代表チームとして参戦
- ⑨ 2022 年アジア大会を中期的なゴールと設定し、改善を繰り返しながら日本代表の活動を継続していく

以上

【6-7 評議委員会】

評議会委員会 宮村 一

現在登録都道府県協会は(一社)東京都・静岡・愛知県・九頭竜(福井) 大阪府・兵庫
県・(一社)滋賀県・和歌山県・豊見城(沖縄)・福島県・千葉県・京都府
都道府県の体育協会に加盟しているのは
大阪府・(一社)滋賀県協会に成ります

各都道府県協会に報告事項を問い合わせいたしましたが返事を頂いておりませ
ん

評議委員会 18年度事業計画

評議会委員会 宮村

昨年より広報委員会にて都道府県協会のラインが出来、いつでも連絡が取り合
えるようになりました
このラインを利用し各都道府県協会からの報告を受ける様に致します

【6-8 普及広報委員会】

合田靖海委員長

■ 2017年度 報告

Facebook：ページに対する「いいね」の数 1,316 件（昨年 1,443 件（120.1%））、アクセス分析：男性 67%（昨年 68%）、女性 33%（昨年 32%）、国別：日本 936（昨年 992）、香港 128（昨年 177）、マレーシア 44（昨年 43）、フィリピン 41（昨年 40）、リーチ（既読者数）：日本選手権当日のリーチが 1 日で 13,325（昨年 7,820（170.3%））を超えており、コンテンツ量やタイムリーな情報発信がユーザーの関心を高めている事が分かる。

WEB サイト：ページビュー205,424（昨年 249,730）、セッション 63,625（昨年 79,763）、ユーザー34,777（昨年 333,996）

（注）ページビュー：ページが表示された回数

セッション：Web サイトに訪問したユーザーの訪問回数（延べ人数）

ユーザー：セッションのうち再来を除いたユーザー数（延べを含まない人数）

天神大会：アクションカメラを利用、リアルタイムでの組合せ&結果配信

体験乗船会の申込：年間5件

大会アルバムのアップ 金子委員撮影や協会会員の皆さまから頂いた写真をFB等に掲載

その他：選抜チームのITフォロー ・チャットワークの立ち上げ ・個人情報申込フォーム作成、

企業の人事・総務に競技案内・参加呼びかけのDM発送：費用・時間的に未実施

■ 2018年度 方針

Facebook：継続的な情報発信

天神大会での活動：アクションカメラ、リアルタイムでの組合せ&結果配信

体験乗船会の申込：Facebook などでも配信、体験乗船会開催している案内（のぼり・シャツ など）

大会アルバムのアップ：各大会（金子委員、協会会員からの投稿を掲載）

地方大会の特派員：各地域の大会に出場されるチームに特派員をご依頼し、写真等撮影依頼

情報の受付窓口の設置：JDBA 所属の各チームへ案内してほしいイベントや大会など、ドラゴンポートに関する内容を下記のフォームからお送りください。公式FacebookやTwitter、お知らせなどを通じて全体配信をさせていただきます。※お送り頂いた内容は普及委員で審査させていただきます。

インスタグラム：「#ドラゴンポート」で投稿された記事を読覧できるようにしました。



アンチ・ドーピング研修会報告（2018年5月10日）

場所：大阪合同庁舎国際紛争解決センター

◇「世界のアンチドーピング事情」と題して、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構の浅川伸専務理事の講演がありました。

・2016年のドーピングのサンプルは合計で229,514検体で内、3032件に違反が疑われる文責報告が見つかり、その内66%がアンチドーピング規則違反でした。

この内、選手自身ではなくその回りのコーチなどが関わっている違反（non-analytical違反）は269件ありました。

・2016年にスポーツ競技の中で最も違反が多かったのは、①陸上種目②ボクシング③自転車④重量挙げ⑤サッカーの順でしたが、ドーピングの発生は、そのスポーツ競技の特性によって違反内容も異なってきます。

国別で違反が多かったのは、①イタリア②フランス③米国④オーストラリア⑤ベルギーの順で、日本は年間5件から10件で、国際的にもクリーンなイメージでしたが、昨年のドーピング違反物質混入問題があり、信用が下がっています。

・これらのドーピング違反について、スポーツ競技者やスタッフに啓蒙活動を行うとともに、アンチドーピング規則やルールについてアスリート及びその関係者が理解し、自ら行動する環境を作ることと、非競技者に対しては、スポーツの価値を高めるというアンチドーピング活動の意義の普及を通じて、自身の成長を見出す動機づけを行う。

特にジュニア・ユース層に対しては、違反物質の啓蒙だけでなくスポーツの価値を伝えて行くこと。

◇「ドーピング違反の手続き」について、弁護士で日本アンチ・ドーピング委員会の規律部副委員長（ドーピング違反の申請があった時にその審査にあたる部署）で立教大学教授の早川吉尚氏より話がありました。

・まず、近年では1960年に自転車選手がドーピングが原因で死亡、1988年は男子100mでベン・ジョンソンが違反でメダルを剥奪され、1994年はサッカーのマラドーナ、2004年は円盤投げでアニュシユ選手が大会後に違反が判明し日本の室伏浩二がメダルを獲得、2013年も短距離でケイが違反。それまでは、クリーンと言われた日本で2017年にドーピング競技で違反物質をライバル選手に入れる問題が発覚した。

・陽性反応が出たら、まず検査上の申請書類に書類の不備がないかどうかを確認し、また検体の採取段階や運搬時に不備がなかったかどうかを確認する。

「陽性反応」が出たら、選手に対してA検体だけでなくB検体についても分析するかどうかを確認し、選手に対しては、該当協会は、裁定ができまでの期間、「暫定的資格停止」とし、大会に参加することを禁止すること。

日本アンチ・ドーピング・機構は、規律部の構成として、5年以上の適格な経験を有する法律家1人、5年以上の適格な経験を有する医師1人、スポーツ関連団体の役職員または競技者を

1人選任し、該当競技の特性などを踏まえて聴聞する。

聴聞が初を開き該当選手から聴取するが、陽性反応が出たことに対して、選手は決して「自分には心当たりがない」という言葉は決して口にしてはなりません。

その理由は、アンチ・ドوپینگ規則の中の「規則第2、1,1,項」に『禁止物質が体内に入らない様にする事は、各競技者が自ら取り組まなければならない責務である。自己の検体に禁止物質又はその代謝物若しくはマーカーが存在した場合には、競技者はその責任を負う。ゆえに、第2、1項に基づくアンチ・ドوپینگ規則違反を証明するためには、競技者側に使用に関しての意図、過誤、過失又は使用を知っていたことが証明される必要はない』と記載されており、「疑わしきは罰せよ！」との原則で陽性反応が出た競技者の側に証明責任があるとされる。

・選手の資格停止は、1回目の違反は2年間又は4年間が基本で、2回目の違反ではさらに厳しい制裁となります。減刑については、「重大な過誤または過失がないこと」、また違反の発覚前後に自ら違反を申し出た場合。過誤又は過失がない例としてCAS（国際仲裁裁判所）の事例は、テニスのガス選手のように、ナイトクラブで知り合った女性と交した結果、当該女性がコカインの服用者であったことを知らなかった場合にコカインが選手から検出された場合。2017年の日本国内での加一競技事案の被害者などもそれに該当する。

・最後にでは、陽性反応が出た場合の理想的な選手のコメントは？

「心当たりがない」「記憶にありません」ではなく「弁護士と相談します」だそうです。

以上

文責:JDBA事務局 谷

【第7号議案 7-1】 2017年度 ハイスピードカメラ購入寄付者・団体 事務局
(順不同)

No	氏名・団体名	金額
1	滋賀県ドラゴンボート協会	30,000-
2	宮村 一	20,000-
3	東京龍舟	60,000-
合計		110,000-

※ご寄附頂きまして、ありがとうございます。支払は昨年7月で終了いたしました。

チームの皆様、役員の皆様には多大なご負担、ご無理を申し上げまして、誠に申し訳ございませんでした。

【第7号議案 7-2】 第14回IDBF 世界ドラゴンボート選手権選考会ポイント

競技委員長

2019年にタイ・パタヤビーチで開催予定の第14回 IDBF 世界ドラゴンボート選手権の代表選考をスタンダードは、東京大会、日本選手権大会の2大会で、スモール代表はびわこスモール選手権で行います。

選考ポイントは以下の通り。

◇東京大会予選会 1位：5ポイント 2位：2.5ポイント 3位：1ポイント

・オープン：bp 5ポイント

・混合：東京龍舟 5ポイント、関西龍舟シンバ 2, 5ポイント、すいすい丸 1ポイント

・シニア：東京龍舟マスターズ 5ポイント、侍 OYAGE 2, 5ポイント

◇日本選手権最終選考 1位：10ポイント 2位：5ポイント 3位：2ポイント

(例)

東京予選会	3位	3位	3位	2位	2位	2位	1位	1位	1位
Point	1	1	1	2.5	2.5	2.5	5	5	5
日本選手権	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
Point	10	5	2	10	5	2	10	5	2
合計 point	11	6	3	12.5	7.5	4.5	15	10	7

※同ポイント場合は日本選手権での成績を上位とする

※育成種目の女子、シニアについては、自己責任で重複乗艇可。決勝戦での舵取り派遣可。女子は太鼓、舵取りは男子可。但し、レース進行では配慮しない。

会長	小野清子
副会長	矢田節彦、細谷悦哉
顧問・理事	山岡伸一
理事長	櫻井顕一(代表理事)
副理事長	菖蒲誠(代表理事)、長谷川伸(競技委員長)、鎌田敦士
理事	宮村一(評議委員長)、原田直己(医事・厚生委員長)、合田靖海(普及広報委員長)、後藤幸弘(科学技術委員長)、半田佳彦(強化委員長)、榆木栄次郎(強化委員会・オープン混合部長)、山岡伸一(顧問)、木村一郎(普及副委員長)、谷達也(代表理事・事務局長)
事務局	谷達也(事務局長)、斎藤統(事務局次長)、中村和哉(事務局次長)、堀之内弘恵、山崎裕司、千葉晋史
競技委員会	長谷川伸(競技委員長)、村野智子(総務部長)
審判委員会	川北尚勝(審判委員長)
強化委員会	半田佳彦(強化委員長・ジュニア部長)、榆木栄次郎(オープン・混合部長)、河田英幸(女子部長)、高橋雅彦(オープン・混合副部長)
評議委員会	宮村一(評議委員長)、山脇秀錬(副委員長)、高橋冬扇(副委員長)
国際委員会	森永裕幸(国際委員長)、菖蒲誠(副委員長)、松尾由佳、野尻恵子
用器具委員会	石川平明(用器具委員長)、池田和也(副委員長)
法制営業委員会	利波敏行(法制営業委員長)
医事厚生委員会	原田直己(医事厚生委員長)、森岡幸雄(副委員長)、橋本正勝
普及広報委員会	合田靖海(委員長)、木村一郎(副委員長)、丸山晴海
科学技術委員会	後藤幸弘(科学技術委員長)、田中讓(副委員長)
監事	西川京子(会計監査＝公認会計士) 中村英作(業務監査)

【第7号議案 7-4】

「監督、コーチのみなさんへ」

～指導者の厳しさの質について～

(JDBA 理事長通達)

昨今、スポーツ指導方法について、指導者が適切に対応しているかどうか問われています。日本ドラゴンボート協会でも指導者である監督やコーチが「勝つため」だけを目標にして、選手等の意思や意向をまったく尊重しない「勝利至上主義」に陥っていないか、どうか今一度、再確認していただきたいと思えます。

元来スポーツをするメリットは、法令や規則を順守する中で、人間同士がコミュニケーションを図ったり、技術の向上を目指して努力する中で「人格形成や心の成長」を図っていくことです。すべてのスポーツにおいて、1位を目指す権利はだれにも存在しますが、最終的に優勝する人は全体の中のほんの僅かな人たちです。

1位になれないから「ダメ」ではなく、勝利に向けて日々練習し努力するその過程を重要視し、連帯感を持ってそれぞれがより大きな器になっていくことに価値を置いていくことは、スポーツ精神の原点でもあります。

過日のカヌーのドーピング違反などの様に、勝利の為に法令や規則違反を犯してまで勝利に執着するやり方は相手を思いやるスポーツ精神に反しています。

試合が終われば「ノーサイド」で敵も味方もなく、お互いを尊重し尊敬しあう関係を構築していくことです。

たとえ試合に敗れたからと言って感情的になったり、だれかを責めたり、個人の尊厳を無視して罵倒したりすることなどはもってのほかです。

むしろメンバー同士が冷静になってお互いを見つめ合い、試合を振り返って将来に向かって建設的な意見を出し合い、話し合う環境づくりがとても重要です。

各チームの監督、コーチなど指導者の皆様におかれましては、パワハラやセクハラは勿論、言語道断ですが、常にメンバーの意見を吸い上げる雰囲気づくりと体制づくりを構築することに力を注いでいただき、アマチュアスポーツらしく、厳しい指導の中にも優しさと楽しさが溢れるチームづくりを目指し、それを実行していただきたいと強くお願いする次第です。

以上

2018年6月2日

一般社団法人日本ドラゴンボート協会
理事長 櫻井 顕一

【第7号議案 7-5】 その他

- ・日本選手権でのJDBA理事謝礼受取承認の件(事務局・承認事項)
- ・東京・「海の森」での大会開催と新艇購入計画について(長谷川委員長)

JDBA 理事会議事録

2018年6月2日午前10時

理事9人出席で成立

1号議案

- ・2017年事業報告
- ・2017年JDBA登録チーム61チーム、加盟数報告→異議なし

2号議案

- ・2017年度決算報告→満場一致で承認

3号議案

- ・会計、業務監査→満場一致で承認

4号議案

- ・2018年JDBA予算→満場一致で承認

IDBFからの個人会費1人US\$徴収するという点についての課題について検討。

IDBEに対して、決算資料、予算、支払うメリットを聞く。

5号議案

- ・2018年度事業計画

6号議案

- ・競技委員会：競技者規定の見直し、用語の統一、舵取りの技術向上
- ・国際委員会：日本チーム参加大会報告。台湾義援金のお礼。24万円。今年度のアジア選手権派遣を進めている。国際審判員の普及。東京、滋賀県とも希望者は一桁。国際審判で昇格した人は、審判委員会に報告する。IDBFより混合の部の構成を男女とも10人という改正案については、今後次年度以降国内大会でも適応する。
- ・審判委員会：上級審判員の昇級資格として協会主催の日本選手権、東京大会、KIX大会に5年間で2回審判に参加。上級審判で5年間3大会参加しなければ降格。
理事会・委員長承認。
- ・科学技術委員会：自分たちのチームがストロークを伸ばすか、ピッチを上げるほうが良いかを検討してください。G1を高めるピッチは110くらいが限度か。
- ・法制営業委員会：東西で大会を作る。東京の豊洲でもコーポレートゲームズも検討。
- ・強化委員会：アジア選手権、世界選手権の代表チームは半数以上が望ましい。
- ・広報委員会：アジア選手権、世界選手権に派遣するシニアB・50歳以上のカテゴリーを日本選手権で新たに加える。理事長・委員長承認。
- ・医事委員会：強化選手にもドーピングの講習会合宿の時などで座学が必要。

7号議案 その他

- ・東京・海の森会場の進捗状況

(総会)

1号議案

- ・2017年事業報告
- ・2017年JDBA登録チーム、加盟数報告

2号議案

- ・2017年度決算報告→満場一致で承認

3号議案

- ・会計、業務監査→満場一致で承認

4号議案

- ・2018年JDBA予算→満場一致で承認

5号議案

- ・2018年度事業計画：

6号議案

- ・競技委員会：日本代表チームの検討。舵取りの技術向上を目指す。
- ・国際委員会：海外から60件ほど参加の問い合わせ有り。台湾義援金を渡した。
IDBFの国際資格の取得促進。
中国昆明で世界クラブカップ選手権が開催され東京龍舟が参加しライブ中継。
IDBFの理事会で登録選手1人100ドルの話があるが、JDBAの疑問点（メリット）などについてIDBFに返す。IDBFで決定した混合の構成が男女10人、10人となるのは、国内ではいつ頃になるか⇒IDBFのルールブックに掲載後になるが次期をIDBF競技委員長になるべく早く確認する。
- ・審判委員会：上級審判員の資格昇級については、日本選手権大会、東京大会、KIX大会で5年以内に2回以上審判員として参加すること。上級審判でも過去5年間に3大会で審判員として参加しなかった場合は、A級に降格となる。
- ・科学技術委員会：報告P22-P23の別表を参考に、各チーム毎にストロークを上げたほうが良いかピッチを上げたほうがタイムが縮まるかをそれぞれ精査してほしい。
- ・法制営業委員会：報告「関西スポーツの日」
- ・強化委員会：報告 海外派遣は日本代表チームが前年度優勝チームから約半数が必要。
- ・評議委員会：報告
- ・普及広報委員会：報告
- ・医事厚生委員会：アンチドーピングの違反の件について、筋肉増強剤の違反（カマーなど）。
ドーピング違反の防止対策のひとつとして、口に入れるもの（食べ物・飲み物7）はすべて競技者の責任となる。飲み物の「飲み残し」はその場を離れたら捨てること。
- ・2019年度世界選手権のポイント説明（長谷川競技委員長）
- ・理事長通達：スポーツ界の不祥事を受けての通達。
- ・7月15日の日本選手権での理事への交通費支給について→全員一致で了承。

7号議案

(その他)









- ・「関西龍舟」より日本選手権の10艇の足元の仕様が6艇と4艇で異なっているので、善処してほしいとの要望⇒時期は約束できないが仕様を今後揃えていくように努力したい。
- ・「関西龍舟」より日本選手権のsmall選手権でスタンダード艇を使用しているが、small艇を使用してほしいとの要望⇒大川は通行船舶が多いので、転覆など安全上の問題と経費の問題があるが検討してみる。
- ・「大阪協会」より高石の漕艇場で練習場を開いているので、どしどし参加してほしい。
- ・「女子強化部長」より女子が少ないので、日本選手権で女子の参加料を下げしてほしい⇒次回7月14日の理事会で再提案して頂き検討する。

2018年度 理事会・総会議事録の承認について

・日時：平成30年6月2日 午後4時

・場所：大阪キャッスルホテル

理事名

櫻井 顕一	櫻井 顕一	
菖蒲 誠	菖蒲 誠	
宮村 一	宮村 一	
原田 直己	原田 直己	
長谷川 伸	長谷川 伸	
合田 靖海	合田 靖海	
後藤 幸弘	後藤 幸弘	
谷 達也	谷 達也	
鎌田 敦士		